

第6地区コミュニティ

「第6地区視察研修旅行」

○首都圏外郭放水路



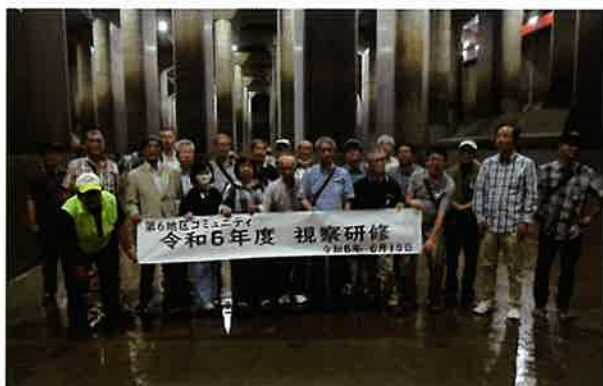
龍Q館



地下神殿への階段



調圧水槽（防災地下神殿）



今回の研修は古河市の環境行政及び防災について考える事を主な目的として6月15日に行いました。防災関連としまして古河市は第一に洪水を想定しなければなりません。そのような観点から、今回は首都圏外郭放水路の見学を企画しました。春日部にある通称「地下宮殿」と言われている調圧水槽は177M×78M高さ18Mの巨大空間でした。ここに埼玉県の大中小河川5カ所の立坑から地下50Mのトンネルを連結して大量の水が流れ込みます。首都圏に流れ込む各河川の水を地下に溜め込み東京に流れない様にしております。災害を防止するためには膨大な金額がかかるのだと改めて考えさせられました。

次に永年課題と成っております古河市斎場改修工事が3年の工事期間を経て今年5月に完成しました。地域住民としては非常に興味深いものが有ります。最新鋭の脱臭設備を備えた高温炉を身近に見学し、また周囲の住民に配慮した建物を見学しました。地域住民の立場から環境について要望をお伝えしました。

環境に関する大きな課題としてゴミ処理の問題があります。古河市のクリーンC焼却炉も平成6年に竣工し30年以上が経過しており、老朽化が進み、坂東市にあるさしまクリーンCに令和10年頃より移行の計画も取りざたされております。これを機に分別回収と可燃ごみの減量化に向けて4年をかけて種々問題を解決していかなければなりません。坂東市のさしまクリーンCは平成20年に竣工し処理能力103トン/日の炉が2基あり最大206トンのとの事でした。さしまの最新鋭の焼却炉を比較し、燃焼力の違いや、エネルギーの再利用を身近に感じ、より3R（リデュース・リユース・リサイクル）に対する関心度が高まりました。今回の企画に対し、古河市長を始め、古河市市民部長・環境課長を含め環境課の方々に大変お世話に成りました。ありがとうございました。

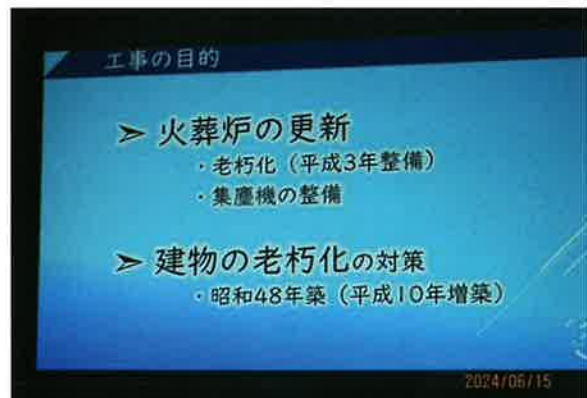
第6地区区長 小川 久雄

「第6地区視察研修旅行」

○ 古河市斎場(リニューアル)

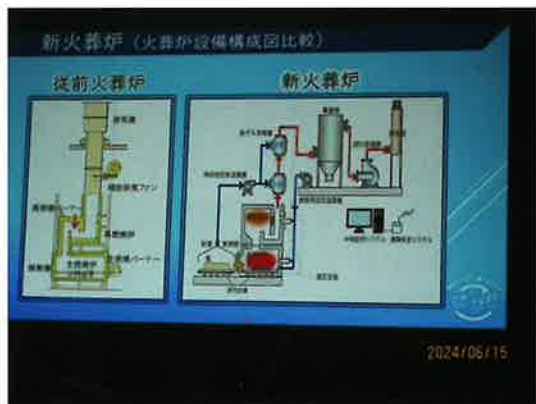


市職員による説明

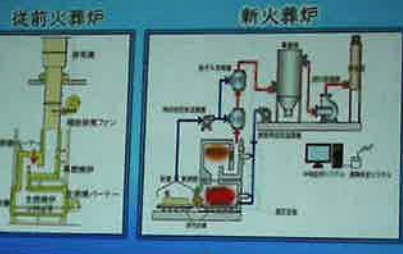


- 火葬炉の更新
 - ・老朽化(平成3年整備)
 - ・集塵機の整備
- 建物の老朽化の対策
 - ・昭和48年築(平成10年増築)

2024/06/15



新火葬炉(火葬炉設備構成図比較)



2024/06/15



施設の特徴(ラウンジ)



小川会長の御礼の言葉

「第6地区視察研修旅行」 ○ 古河市クリーンセンター



中央制御室



ごみクレーンを操作



昼食は「旬おかさと」で食事

「第6地区視察研修旅行」

○ さしまクリーンセンター寺久



ごみと資源の分別案内⇒3Rの実践